

三陸沿岸道路（宮古田老道路）

トンネル貫通を記念した見学会を実施！
～地域の皆様が田老第4トンネルを見学～

震災復興のリーディングプロジェクトとして事業を進めている三陸沿岸道路「宮古田老道路」（宮古市^{まつやま}松山～宮古市^{たろうあざこほりない}田老字小堀内 延長約21km）は、震災後事業化（平成23年11月）された復興道路です。

このたび、（仮称）田老第4トンネル（延長360m）が10月14日に貫通したところですが、これを記念して工事現場近隣のケラス地区の皆様を招き、見学会を開催しますので、お知らせします。

（仮称）田老第4トンネルは、宮古田老道路で3番目の貫通となります。

1. 日 時：平成27年10月25日（日）10：00～11：30
2. 見学場所：三陸沿岸道路（宮古田老道路）（仮称）田老第4トンネル
宮古市田老字ケラス地内
3. 主催者：五洋建設株式会社
4. 内 容：通り初めや施工機械などを見学されます。

※見学場所及び詳細は別紙を参照ください。
※当日、取材される際は、ヘルメットを準備しますので事前に連絡をお願いします。

《発表記者会：東北専門記者会、岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ》

問い合わせ先

【工事及び見学会に関するお問い合わせ】

田老地区トンネル工事事務所 電話 0193-77-4317（代表）
宮古市崎鍬ヶ崎第11地割5-1

現場代理人 高橋 哲哉

【事業に関するお問い合わせ】

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 電話 0193-62-1711（代表）

副 所 長 平岡 弘志

建設監督官 今田 修

三陸国道事務所のホームページならびに復興道路、三陸沿岸道路については

 で検索できます

三陸沿岸道路（宮古田老道路）

田老第4トンネル貫通を記念した見学会について

□ 目的

昨年11月から掘削を開始した（仮称）田老第4トンネル（延長360m）は10月14日に貫通したところですが、これを記念して工事現場近隣のケラス地区の皆様をお招きし見学会を開催します。

また、（仮称）田老第4トンネルの工事は、ケラス地区の生活道路（市道等）を工事用車両の搬出入路として利用させていただいており、日頃の感謝を込めて通り初めや施工機械などを見学してもらい復興道路の工事が確実に進んでいることを実感していただくことを目的として開催します。

□ 見学会 日時、集合場所、実施内容等

日 時 平成27年10月25日（日曜日） 午前10時～午前11時30分（雨天決行）

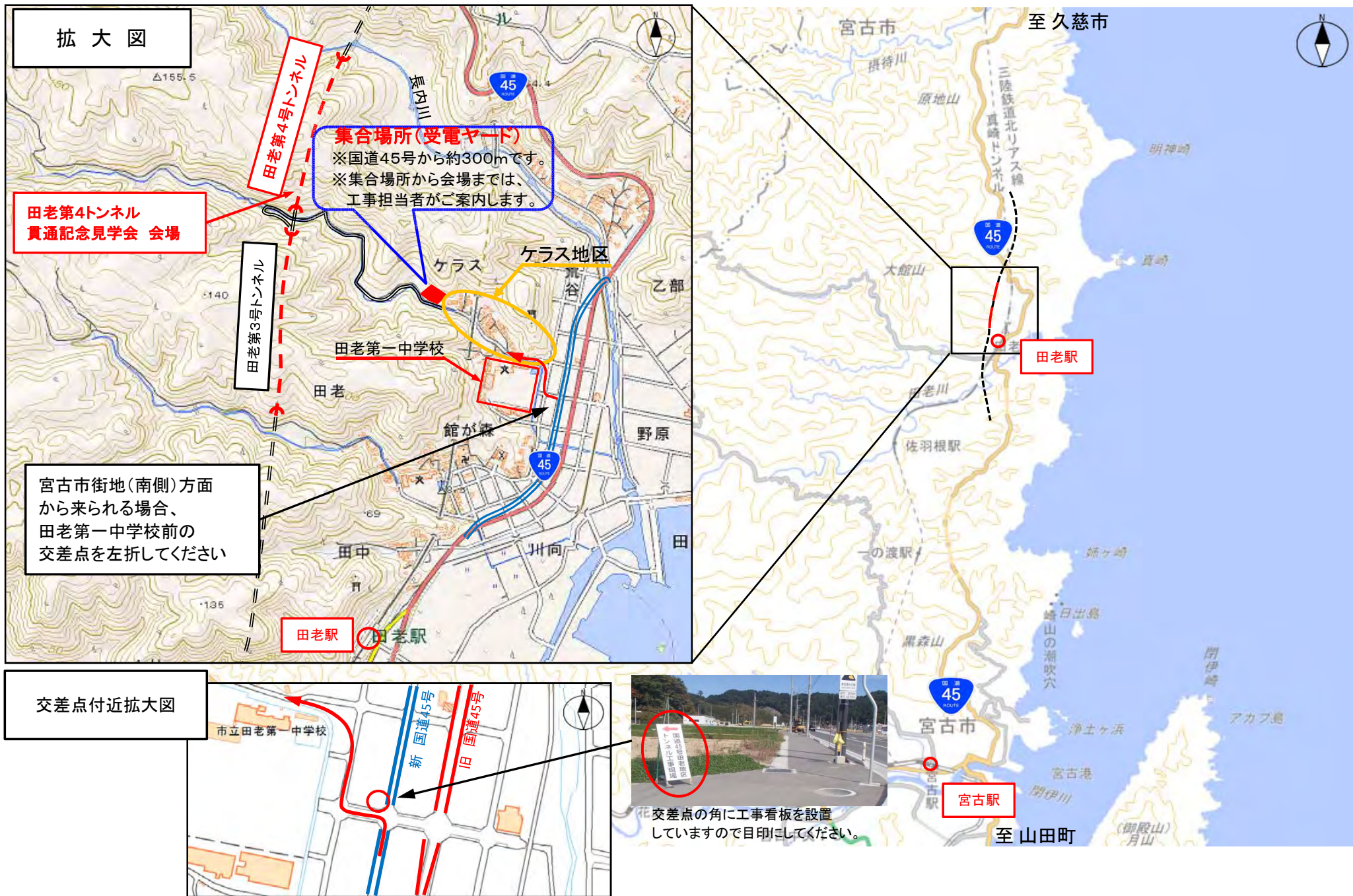
集 合 場 所 国道45号田老地区トンネル工事 受電ヤード ※次頁位置図参照
（午前9時45分から受付を行います。）

実 施 内 容 ①貫通点（摂待側の坑口付近）で貫通イベントを実施します
⇒全員で通り初め、記念撮影などを行います
②トンネル機械のデモンストレーション（ショベル、削岩機等）
③トンネル坑内の見学
④防水シート、ロックボルトカバーに復興道路への思いなどを書いて頂きます

見学対象者 ケラス地区の皆様（約30名）

主 催 五洋建設株式会社

田老第4トンネル貫通記念見学会 位置図



宮古田老道路（宮古中央～田老）の概要

路線概要

三陸沿岸道路「宮古田老道路(宮古中央～田老)」は、宮古市松山から宮古市田老を結ぶ約21kmの自動車専用道路です。

現道の線形不良区間、津波浸水区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により救援物資の輸送拠点となる久慈港と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

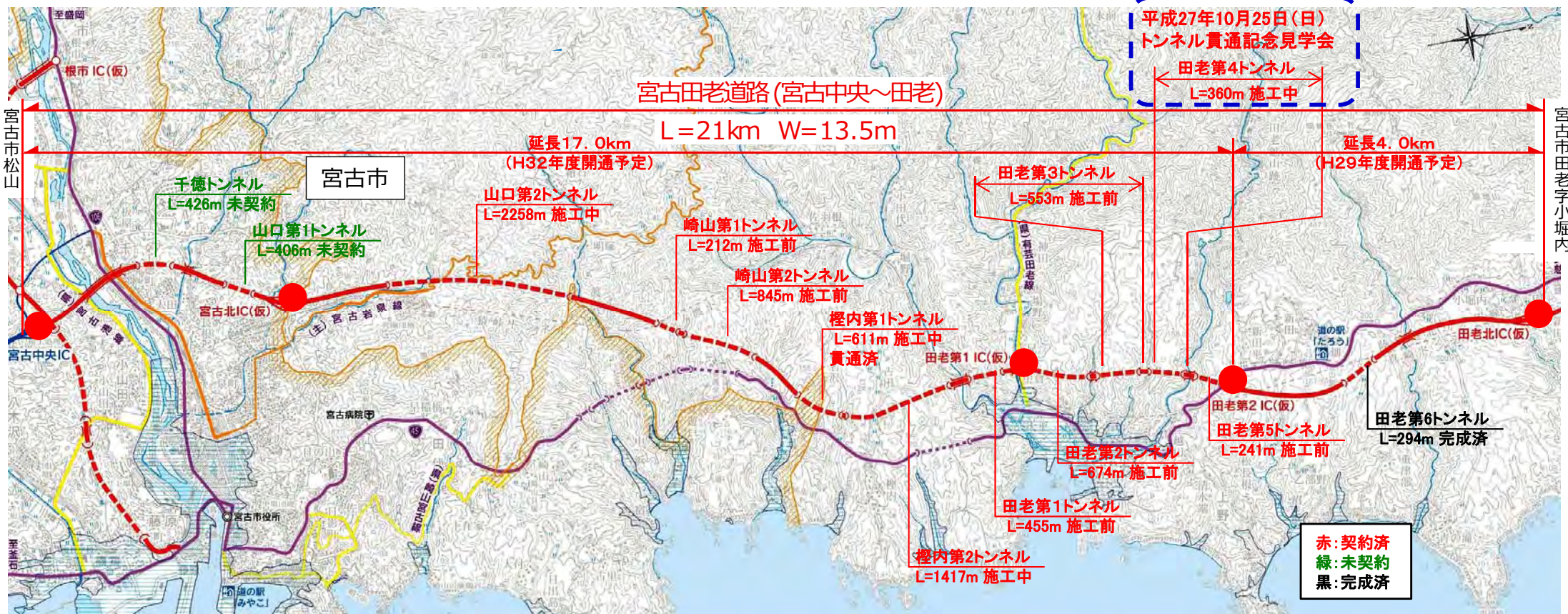
平成27年度は、用地買収等を進め、改良工事、トンネル工事、橋梁工事を実施しています。

計画諸元

宮古田老道路 (宮古中央～田老)	
起 点	宮古市松山
終 点	宮古市田老字小堀内
延 長	21km
幅 員	2車線 13.5m
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h



宮古中央IC付近(北側を望む)



新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

- 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
- 三陸沿岸道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待

内陸の観光地



八幡平（八幡平市）
入込客数186万人/年



遠野盆地（遠野市）
入込客数154万人/年



展勝地（北上市）
入込客数77万人/年

世界遺産 平泉（平泉町）
入込客数208万人/年

中尊寺



毛越寺



三陸復興国立公園

浄土ヶ浜 （宮古市）



船越半島大釜崎 （山田町）



碓石海岸 （大船渡市）



三陸ジオパーク

小袖海岸 （久慈市）



北山崎 （田野畑村）



龍泉洞 （岩泉町）



迅速で安定した救急搬送で、安全・安心な住民生活に寄与

- 宮古保健医療圏(宮古市、岩泉町、田野畑村、山田町)の第二次救急医療施設は県立宮古病院のみだが、国道45号には急カーブ等が多く、救急搬送時に大きな課題
- 宮古田老道路の整備により、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全安心な住民生活に寄与

▼現道の隘路状況

宮古田老道路 L = 21 km



- : 急カーブ箇所 (平面曲線半径150m未満箇所)
- ▲ : 急勾配箇所 (縦断勾配5%以上区間)

宮古～田老区間の国道45号

急カーブ箇所
(R < 150m)
24箇所



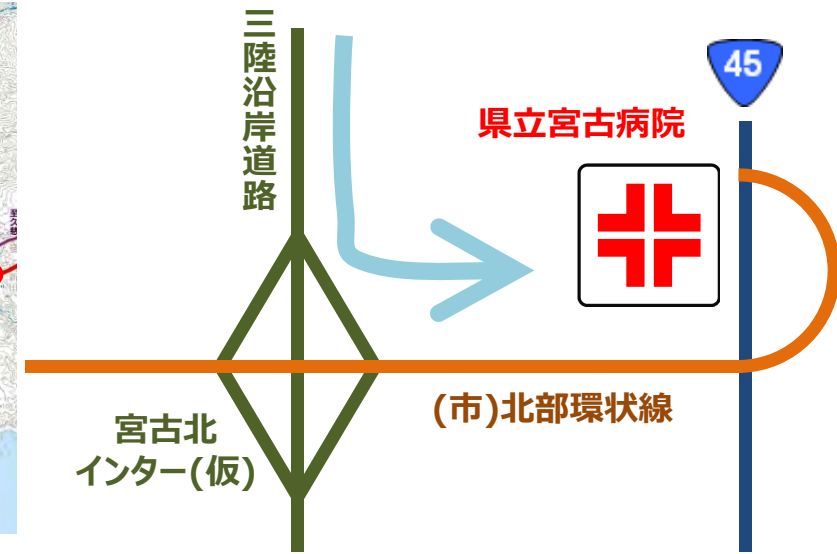
急勾配箇所
(i > 5%)
28箇所



宮古田老道路

急カーブ箇所 (R < 150m)
急勾配箇所 (i > 5%)
0箇所

▼宮古病院へのアクセスルート



岩泉町から県立宮古病院への搬送時間

現在 約50分 ⇒ 将来 約35分

津波浸水区域を回避し、緊急輸送道路の信頼性を確保

- 東日本大震災では、津波被害により国道45号等の幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止が発生
- 宮古田老道路は、大規模災害時でも寸断されない強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成

▼ 宮古市～岩泉町間経路



▼ 津波により寸断された国道

写真① 宮古市田老地区



写真② 宮古市磯鶏地区

